

プロトコール名 乳癌 nab-PTX+アバスチン療法

適応 手術不能又は再発乳癌

投与期間 4週を1コースとして使用

投与計画

薬剤名	基準量
アブラキサン	100 mg/m ²
アバスチン	10 mg/kg

薬剤名	投与量	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
アブラキサン	100mg/m ²		↓							↓							↓													
アバスチン	10mg/kg		↓														↓													

(day1、15)

- ①生食100ml(ラインキープ、ルートフラッシュ用)
- ②グラニセトロン1B+オルガドロン4A (30min)
- ③生食50ml+アブラキサン 100mg/m² (30min) **投与前後、生食にてルートフラッシュ**
- ④生食100ml+アバスチン 10mg/kg (* 初回90min、2回目60min、3回目以降30minに短縮可)

投与前、生食にてルートフラッシュ

- ⑤生食50ml (5min)

生食100ml	グラニセトロン オルガドロン 30分	アブラキサン 生食50ml 30分	アバスチン 生食100ml *	生食50ml 5分
---------	--------------------------	-------------------------	-----------------------	--------------

(day8)

- ①生食100ml(ラインキープ)
- ②グラニセトロン1B+オルガドロン4A (30min)
- ③生食50ml+アブラキサン 100mg/m² (30min)
- ④生食50ml (5min)

生食100ml	グラニセトロン オルガドロン 30分	アブラキサン 生食50ml 30分	生食50ml 5分
---------	--------------------------	-------------------------	--------------

アブラキサン投与時はインラインフィルターを通さないこと

アブラキサンは特定生物由来製品であるため使用記録を20年間保管すること

アバスチンは生食で希釈すること

出血・塞栓症状に注意すること
創傷治癒遅延を起こすため、手術からの間隔を確認すること

●休薬・減量基準

・次表の基準を参考に、減量・休薬をおこなうこと

好中球数	1000/mm ³ 以上で実施可能
血小板数	7.5万/mm ³ 以上で実施可能
AST・ALT	2.5×ULN以下で実施可能 (肝転移症例では5×ULNまで可)
尿蛋白	2+以上でアバスタンの継続について確認